

さんさん通信



金沢市議会 山下あき 市政レポート

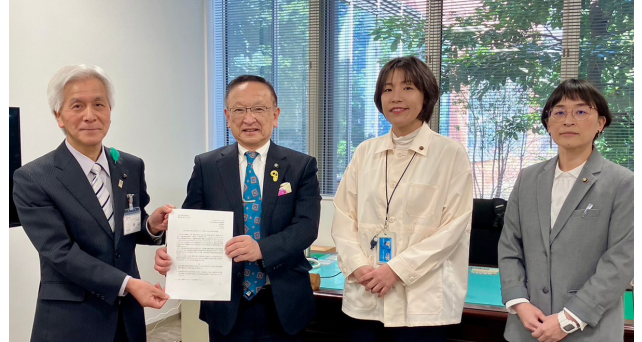
3月議会 ここに注目



予算概要



予算の重点



大阪・関西万博の会場内において、着火すれば爆発の危険がある濃度のメタンガスが検知されたことを受け、市議員団で市教育委員会に修学旅行について緊急の申入れを行いました。生徒の安全確保最優先の観点から行程の見直しと、生徒、保護者に対して十分な説明を行うことなど要望しました。

✓ 一般会計で初の2000億円を超える過去最大の予算規模

市長から提案された新年度予算は、過去最大の予算規模となりましたが、物価高で厳しさを増す市民生活の願いに応えた予算とは言えず、私たち日本共産党市議員団は反対しています。

反対した主なもの

- ・国民健康保険料の大幅引き上げ
- ・市民合意のない規制緩和された都心軸の再開発
- ・大手企業のための金沢港整備
(20年間で464億円の事業 市負担88億円)
- ・小中学校のデジタル科新設 など



✓ 国民健康保険料が大幅に引き上げられる

前年度に比べて、平均12.45%（一人当たり1万3,942円の負担増）の大幅な引き上げとなりました。今でも高い保険料を協会けんぽ並みの払える保険料にすべきです。

✓ 「金沢方式」の今後

新年度予算で、公民館等の整備費用のうち25%だった地元負担が20%に軽減されました。しかし、地域住民から負担を伴わない整備を求める陳情書が出されたことをみても、市民的な理解と合意はありません。引き続き負担の見直しを求めています。

✓ 金沢港が「特定利用港湾」に指定される

「特定利用港湾」とは、平時から自衛隊や海上保安庁が訓練等で整備活用できる港湾のことです。全国25港湾が指定されています。金沢港は、石川県が国の依頼を受け4/1から指定されました。国の思惑によって港が軍事利用され、有事には攻撃目標とされる危険もあることから、指定の撤回を求めます。



金沢市議会議員

山下あき

ご意見、ご要望、ご相談はこちらへ

日本共産党金沢市議員団

金沢市役所7階

TEL: 076-220-2407

akiyamashita1171@gmail.com

活動はこちらから

facebook



X



instagram



@YAMA_AKI333

主な活動地域

十一屋(法島、西大桑、大桑町除く)、内川、泉野、長坂台、富樫、伏見台、泉、額、扇台、四十万、みどり、安原、三和、押野、西南部、中村町、三馬、米泉、米丸、新神田

1976年金沢生まれ
十一屋小・野田中・和光高
介護福祉士

<最近読んだ本>
・女とことばと憲法と
・日本共産党の規約と党建設教室

一般質問に立ちました



質問動画



質問全文

質問項目

1. 児童福祉施策について
 - ▶ 保育施設等の整備について
 - ▶ こども誰でも通園制度モデル事業について
2. 不登校支援について
 - ▶ 現状と課題について
 - ▶ 新年度予算について
 - ・ 学びの多様化学校
 - ・ 校内教育支援センター
 - ・ メタバースを活用したオンライン支援
 - ・ 子どもの居場所支援
3. 市立病院事業について
 - ▶ 地域医療支援病院の役割について
 - ▶ 移転整備事業について
4. 公共交通について
 - ▶ 連節バス導入について
 - ▶ 交通政策の構築について



① 児童福祉施策について

こども誰でも通園制度モデル事業について



山下

こども誰でも通園制度は、子どもの安心・安全が保障されるのか、また保育所等の預かる側の負担が大きいなど、すでに懸念の声があり、抜本的な見直しが必要だと考える。新年度本市でモデル事業を進めるにあたり、保育士の配置基準や資格の有無について、どのように定めるのか。

施設側が設置する整備や運営などの基準を定める条例を、6月定例月議会に提出する準備をすすめている。その中で保育士の配置基準や資格の有無について定めていく。

こども未来局長



2026年度から全国で本格実施される「こども誰でも通園制度」は、保護者の就労を要件とせず、保育園等に通園していない6カ月から2歳児が利用できる制度です。保護者の負担を軽減し、社会で子育てをしていくという理念は大切です。しかし規制緩和では質の高い安心安全な保育が保障されません。6月に提案される条例についてもしっかり注視していきます。

② 不登校支援について

学校教育センターの利用対象の拡充を求める



山下

学校教育センターの不登校や発達障害の相談事業を利用してきた保護者から、関わりを積み重ねてきたセンターで15歳以上も継続的な支援をしてほしいという要望がある。18歳まで対象を拡充することを求める。

中学卒業後も相談を希望する保護者については、県教育支援センターやすらぎ金沢や、医療機関等の関係機関に照会し、必要に応じて連携を図っていることから18歳までの拡充については考えていない。



教育長



2023年度の金沢市における不登校児童生徒は、小学校498人、中学校823人、計1321人です。年間30日未満の欠席で不登校と定義されない学校に行きづらい子どもたちも含めた実情を捉え、多様な支援体制の必要性和同時に、安心して通える学校への転換が求められます。また保護者の心理的、経済的負担も支援する施策についても求めていきます。



なんでも 相談会

日時

4月30日
水曜日
10～12時

5月28日
水曜日
10～12時

6月25日
水曜日
10～12時

場所

交流ひろば
みのり2階
(若草町26-7)

予約

(076)
220-2407

メールでの
予約
問い合わせ



お困りごと、相談ごとがありましたら、相談会以外の日時でもお受けしています。お気軽にご連絡ください。

③市立病院事業について 公立病院の役割について



山下

国は2040年を見据えた「新たな地域医療構想に関するとりまとめ」を2024年12月に公表した。「病床の機能分化・連携」をさらに推進していくとし、病床削減をさらに進める方針を変えていない。地域医療の崩壊を招かないためにも、病床数や経営形態の維持継続を求める。

救急や感染症、災害等の政策的医療など、公立病院としての役割を果たしていくため、現在の306床を維持することとしている。現時点では経営形態の見直しを行わず、地方公営企業法の全部適用を継続していくこととしている。



市長



今年度、市立病院移転整備のために市立病院事務局に「市立病院建設準備室」を新設して移転整備に向けた基本設計が着手されます。現在の21診療科に歯科口腔外科が新設される予定です。救急医療や感染症、災害に強い病院であると同時に、職員が働きやすい環境、地域住民の交流の場となることも盛り込まれました。整備スケジュールについては、設計業務で約3年、工事で約3年の期間が見込まれています。

平和町公園近隣の居住者から日照権について心配の声が寄せられました。地域住民の理解と合意のもと移転整備がすすむよう求めています。

④公共交通について

平和町線における連節バスの実証運行について



山下

通常の路線バスと比較して、輸送力が約1.5倍の「連節バス」を導入し、2026年から平和町線で実証運行を開始する計画となっている。連節バス導入の目的と、走行させる路線を平和町線と選定した理由を聞く。

第3次金沢交通戦略に基づいて、バス1台当たりの輸送力を高めるとともに運転手不足にも対応するため、連節バスを導入したいと考える。交通事業者や道路管理者等とも協議をし、右左折の回数が少ない路線での運行が必要と判断し、まずは金沢駅と金大附属学校を結ぶ平和町線に導入することとした。



市長



公共交通は、まちづくりのあらゆる施策分野に共通した基盤となるインフラです。地域住民だれもが、いつでもどこでも自由にかつ安全に移動することは、健康で文化的な生活を営むうえで欠かせません。連節バス導入においても、市民的ニーズと合意のもと進めていくことが求められます。本格運行に向けた課題もしっかり見ていくと同時に、住民要求であるふらっとバスのようなコミュニティバスの拡大や、地域運営交通の地元負担軽減も引き続き求めています。

1月緊急議会



質疑
全文



質疑
動画

国の補正予算を受けて、25年1月20日緊急議会が開かれました。物価高騰対策給付金等に関する補正予算審議が行われ、全会一致で可決・成立しました。会派を代表し、質疑に立ちました。



みなさんの要望が実現しました！



✓ 保育料の完全無償へ 一歩前進！

3歳未満児の第2子の保育料が所得に関わらず無償となりました。毎年、保育関係者や保護者の皆さんと保育料無償化の要望をしてきました。引き続き完全無償化の実現を求めています。



✓ 避難所となる体育館 エアコン設置へ動き

今年度、小中学校等の体育館に空調設備を導入する方法を検討する予算が盛り込まれました。学校生活の熱中症対策においても早急の設置を求めています。障害者高齢者(むつみ)体育館もエアコン設置に向けた実施設計に着手します。

✓ その他

- ・戦後80年・平和都市宣言40周年の平和展開催
- ・児童クラブ利用料の軽減措置の拡充
- ・就学援助制度の拡充(特別支援学級)
- ・避難所備蓄品の強化など

引き続き取り組みます

- ・ごみの有料化見直し
- ・除雪、排雪の拡充
- ・学校給食費の無償化
- ・子どもの医療費助成制度の拡充
- ・不登校支援
- ・加齢性難聴の補聴器購入補助
- ・コミュニティバスの実現
- ・包括的性教育の推進
- ・ジェンダー平等社会の実現
- など

3月議会の審議結果

議案・意見書・請願の結果(抜粋)



討論・採決の動画
森尾(反対討論)
広田(意見書提案)
山下(意見書提案)

市長提案 (81件のうち一部を掲載)	結果	日本共産党 (3)	自民 (17) ※1	みらい (6)	公明 (4)	創生 (4)	さくら (2)	結 (1)
令和7年度金沢市一般会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○
令和7年度金沢市国民健康保険費 特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○
令和6年度金沢市一般会計補正予算 (第7号)	可決	×	○	○	○	○	○	○
令和6年度金沢市中央卸売市場事業 特別会計補正予算(第1号)	可決	×	○	○	○	○	○	○

市長から提出された81件の議案すべてが可決されました。日本共産党市議員団は64件の議案に賛成し、17件に反対しました。
※1…議長を除く人数



補正予算の動画
山下(反対討論)

日本共産党提出の意見書	結果	日本共産党 (3)	自民 (17)	みらい (6)	公明 (4)	創生 (4)	さくら (2)	結 (1)
消費税の減税を求める意見書	否決	○	×	○ 1 ×5	×	○ 2 ×2	×	×
米の安定供給の保障を求める 意見書	否決	○	×	○ 1 ×5	×	○ 2 ×2	×	○

日本共産党は消費税の減税が一番の物価高騰対策だと提案しています。意見書は賛成少数で否決されました。



米の安定供給の
保障を求める意見書

選択的夫婦別姓について	結果	日本共産党 (3)	自民 (17)	みらい (6)	公明 (4)	創生 (4)	さくら (2)	結 (1)
選択的夫婦別姓制度の議論の促進を求める意見書 (提出会派:みらい、共産)	否決	○	×	○	○	○ 1 ×3	×	○
旧姓の通称使用に法的根拠を持たせるための議論を求める意見書 (提出会派:自民、さくら)	可決	×	○	×	×	○ 3 ×1	○	×

「選択的夫婦別姓」について、市議会に2つの意見書が提出されました。別姓は利便性の問題にとどまらない、個人の尊厳に関わることであり、旧姓使用では不十分です。「夫婦同姓を義務付けることは女性差別で改正すべき」と国連女性差別撤廃委員会が繰り返し勧告しています。

高額療養費改定について	結果	日本共産党 (3)	自民 (17)	みらい (6)	公明 (4)	創生 (4)	さくら (2)	結 (1)
高額療養費制度における自己負担 限度額引上げに関する意見書 (提出会派:みらい、創生)	可決	○	○	○	○	○	○	○
高額療養費改定の一旦凍結を求める請 願書 (提出者:石川県社会保障推進協議会)	不採択	○	×	×	×	×	×	○

高額療養費制度について可決した意見書は、多数の会派が賛成できるよう「引き上げについてはさらなる慎重な議論が必要」に留まりました。政府は8月以降にも引き上げを狙っています。引き続き完全撤回を求めています。